

平成30年度のアクションの進め方(案)

平成30年度に実践するアクション(候補) ※第6回協議会意見より

【平成30年度の進め方の方針】

- 平成30年度は基盤整備から行っていくことが良い。このため、情報発信や魅力づくりの原型となるアクションを進める。
- 平成30年度の予算は、札幌市からまちづくり協議会へ資金を助成する予定である。

●「まちブラマップ」の作成

- 地域住民向け、外国人観光客向けなど対象別に作成することが考えられる。
- 紙媒体を基本に、QRコードを添付してはどうか。
- 宮の沢地区は広いので、エリアを区切って作成してはどうか。
- 割引クーポンを付けることも考えられる。

●活動カレンダーの作成

- 地区内で行なわれているイベントや催事が、ひと目で見ることのできる活動カレンダーを作成する。

●もちつき大会の実施

- 白い恋人パークで外国人観光客向けにもちつき大会を行なう。地域住民も参加できるように、ちえりあ広場を活用して開催を検討する。

●マルシェの開催

- 定期的に開催していくために、体制づくりも合わせて検討していく。
- 7月～9月は地域のイベントが目白押しであるため、既存イベントに抱き合わせて食をテーマにしたミニマルシェの開催を検討する。

●コンサ通りのフラッグ掲示・ハンギング設置

- 苗の助成などを活用しながら、ハレの日にフラッグ掲示やハンギング設置を検討する。

●Wi-Fi整備

- 外国人観光客の需要が高いWi-Fiの整備を検討する。

●施設案内サインの整備

- 手稲記念館など地区内の主要な施設へ誘導したり、現地での案内を行なうサイン整備ができると良い。

- 住民、事業者、活動団体の連携・協力を促す役割も持たせる。

●ガーデンづくりの推進

- 苗の助成などを活用しながら、公共空間や民地のガーデンづくりを進める。
- ラベンダー通りをもっと活用していくようにする。

平成30年度のメインアクション

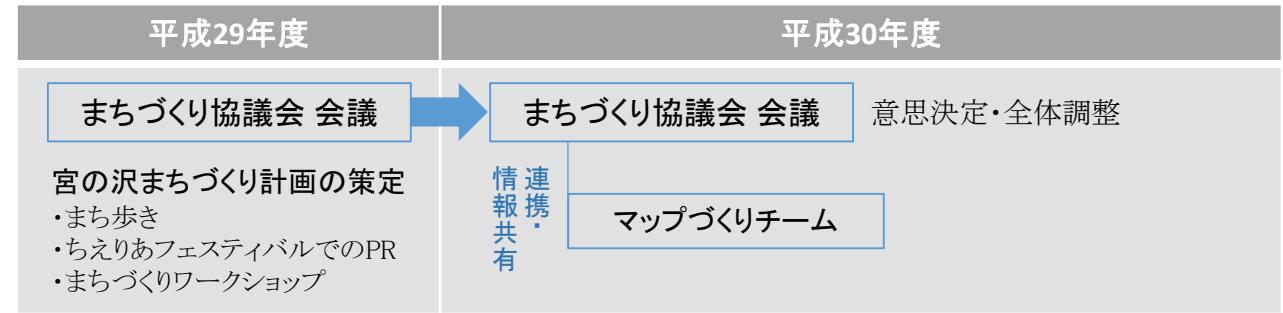
実践

平成30年度のサブアクション

マップ作成と合わせて実践または検討

今後、実践するアクションとして検討

「まちブラマップづくり」を想定した平成30年度の進め方(案)



企画会議①の開催

- マップづくりの企画会議を行なう。
- マップづくりの方針、進め方、主な掲載内容等について協議する。



■対象

- 地域住民向け
- 外国人観光客向け (要翻訳) など

■掲載範囲

- 宮の沢地区全体(まちセン範囲)
- 宮の沢駅周辺

■主な情報

- ランドマーク
- グルメ、歴史文化
- おススメスポット/ルート
- イベントスケジュール など

■ロコミ情報

- 地域住民がおススメする店舗、スポット、感想などを集めて、掲載する。

ちえりあフェスで収集したロコミ情報

仮マップの制作(デザイン、情報反映)

マップ掲載内容の確認・調整

- 商店会等に協力してもらい、マップの掲載範囲、掲載情報(店舗など)、掲載の可否などを確認する。



マップへ情報反映

まちブラ(おススメルートづくり)の実施

- 仮マップを活用して、地域住民を対象にして、まちブラ(5～10名など少人数)を行なう。おススメルート掲載に役立つ。



マップへ情報反映

企画会議②の開催

- マップの内容確認や配架場所、次年度の展開などについて検討する。



印刷・発行

マップづくりチーム

